

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2016年第25週
(6月20日～6月26日)

- * 2016年6月30日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「我が国における高齢者と外国人の結核」も掲載しています。

平成28(2016)年6月30日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

定点把握対象疾患 報告数 2016年25週

上段: 報告数
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2016年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		22週	23週	24週	25週		
小児科	RSウイルス感染症	12 0.05	27 0.10	11 0.04	32 0.12	258	264
	咽頭結膜熱	209 0.81	260 1.00	238 0.92	212 0.82		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	848 3.27	892 3.44	840 3.23	780 3.02		
	感染性胃腸炎	1,779 6.87	1,913 7.39	1,730 6.65	1,575 6.10		
	水痘	105 0.41	129 0.50	113 0.43	134 0.52		
	手足口病	43 0.17	79 0.31	103 0.40	135 0.52		
	伝染性紅斑	42 0.16	64 0.25	47 0.18	49 0.19		
	突発性発しん	215 0.83	209 0.81	162 0.62	220 0.85		
	百日咳	2 0.01	6 0.02	6 0.02	7 0.03		
	ヘルパンギーナ	64 0.25	103 0.40	226 0.87	420 1.63		
	流行性耳下腺炎	144 0.56	174 0.67	159 0.61	172 0.67		
	川崎病 *1	5 0.02	5 0.02	5 0.02	2 0.01		
	不明発しん症 *1	22 0.08	25 0.10	35 0.13	30 0.12		
	インフル エンザ	インフルエンザ *2	34 0.08	27 0.07	19 0.05		
眼科	急性出血性結膜炎			1 0.03		39	39
	流行性角結膜炎	25 0.64	24 0.62	33 0.85	33 0.85		
基幹	細菌性髄膜炎 *3	2 0.08	1 0.04	1 0.04		25	25
	無菌性髄膜炎		1 0.04	2 0.08	2 0.08		
	マイコプラズマ肺炎	7 0.28	8 0.32	14 0.56	12 0.48		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1 0.04	2 0.08				
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) *4	2 0.08	2 0.08	1 0.04	1 0.04		
	インフルエンザ入院						
2016/6/29集計							

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ 流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、過去5年平均よりも高い値で推移している。
- ・ ヘルパンギーナの定点当たり報告数が1.63と上昇している。過去5年平均と同様の動きである。
- ・ 咽頭結膜熱およびA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、第23週以降、低下を認めている。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2016年25週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月		1		22				2	1	3	
6～11か月	7	18	4	136	3	14		73	1	31	
1歳	16	64	43	241	7	52	2	118	1	151	7
2歳	6	33	57	166	13	19	2	23		92	9
3歳	2	31	98	156	6	17	6	3		52	22
4歳		24	114	170	21	14	9			35	14
5歳	1	11	90	112	23	7	9		2	25	26
6歳		8	93	75	17	3	5			11	32
7歳		6	93	71	11	2	6	1		7	21
8歳		5	50	54	10	2	5			4	14
9歳		2	37	39	11		1				8
10～14歳		3	62	155	10	2	2		1	3	16
15～19歳		1	9	37		1			1	1	2
20～29歳		5	30	141	2	2	2			5	1
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	32	212	780	1,575	134	135	49	220	7	420	172
先週比	21	-26	-60	-155	21	32	2	58	1	194	13

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月								1			
6～11か月	1	5			2						
1歳	1	10									
2歳		7			2						
3歳		3			1					1	
4歳		1			1		1	2			
5歳		2			1			1			
6歳		1			1			3			
7歳								1			
8歳								1			
9歳		1									
10～14歳			3		1			2			
15～19歳					1			1			
20～29歳			3		4			1			
30～39歳					11						
40～49歳			2		2						
50～59歳					4						
60～69歳					1						
70～79歳					1						
80歳以上											
合計	2	30	8		33		2	12		1	
先週比	-3	-5	-11		-1		-1	-2			

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2016年25週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田				0.33		0.33		0.67		0.33	
中央区		0.33	1.00	7.00		2.33		1.00		12.00	0.67
みなと	1.50	1.67	2.17	6.67	0.33	0.17		0.83	0.33	4.67	0.67
新宿区		0.63	3.00	2.00	0.25	0.38		0.88		1.00	
文京		2.25	0.75	3.75	1.25	0.25	0.75	0.75		1.00	0.25
台東		1.75	3.50	7.00	0.25	9.75	0.50	1.50		9.25	1.00
墨田区	0.20	1.60	3.20	2.40		0.40		1.00		0.40	0.60
江東区	0.22	0.67	1.78	10.44	0.11	0.44	0.11	0.78		4.44	1.33
品川区	0.13	0.25	1.25	5.88		0.63		0.88		3.25	0.50
目黒区	0.20	0.60	2.80	6.00	0.40	1.00	0.20	1.00		3.00	0.20
大田区	0.31	1.69	4.00	7.92	0.38	0.54	0.62	0.92	0.08	1.77	0.46
世田谷		0.44	8.94	5.69	0.94	0.38	0.06	0.56	0.06	2.50	1.31
渋谷区		0.25		6.75	0.50		1.00	0.75		0.25	
中野区	0.33	1.50	2.67	9.50	2.17	0.33	0.17	2.17		2.17	0.17
杉並	0.09	0.82	2.09	4.00	0.45	0.18	0.09	0.09		0.18	0.27
池袋	0.50	0.75	0.75	1.50	0.25	0.25					
北区		0.43	1.71	5.86	0.43	2.14		0.86		1.57	0.86
荒川区	0.25	2.25	4.75	4.75	0.50	1.25		2.25		3.75	1.50
板橋区			1.33	3.11	0.11	0.11	0.22	0.33	0.22	0.67	0.33
練馬区		0.31	2.92	5.23	0.46	0.38	0.23	0.85		0.62	0.31
足立	0.23	0.85	2.54	7.77	1.00		0.38	0.85		1.15	0.69
葛飾区	0.13	0.13	2.38	8.63	0.25	0.13	0.50	0.75		2.13	0.63
江戸川		0.82	2.64	8.45	0.18	0.45	0.09	0.73		0.64	0.64
八王子市		1.73	3.55	9.27	0.36	0.36	0.18	1.00	0.09	0.55	1.55
町田市	0.13	0.88	2.88	8.75	2.25	0.13		1.25		0.88	1.25
西多摩		0.38	1.13	3.63	0.50	0.13	0.13	0.38		0.13	
南多摩		0.44	2.11	6.33	0.44	0.44	0.11	0.78		0.89	0.78
多摩立川		0.29	4.36	4.43	0.57	0.21	0.21	0.71		0.21	0.64
多摩府中	0.17	0.61	2.17	6.22	0.44	0.11	0.22	1.50		1.67	0.94
多摩小平		1.67	5.00	6.13	0.33	0.13	0.07	0.67		0.67	0.67
島しょ			3.00								
東京都	0.12	0.82	3.02	6.10	0.52	0.52	0.19	0.85	0.03	1.63	0.67

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田								0.50			
中央区			0.20		2.00						
みなと											
新宿区		0.25			0.50			0.50		0.50	
文京					3.00						
台東											
墨田区					2.00						
江東区			0.07		1.00						
品川区											
目黒区											
大田区		0.15			0.50						
世田谷		0.06					1.00				
渋谷区					1.00						
中野区		0.17									
杉並		0.09			2.00						
池袋	0.25		0.14					1.00			
北区											
荒川区					3.00						
板橋区		0.67	0.07		1.00						
練馬区	0.08	0.08			2.50						
足立		0.08	0.05		0.50						
葛飾区								6.00			
江戸川					1.00						
八王子市		0.18			1.00			1.00			
町田市		0.63									
西多摩											
南多摩		0.11									
多摩立川		0.07	0.05		2.00						
多摩府中		0.28	0.03					0.67			
多摩小平		0.07	0.04		0.50						
島しょ											

東京都	0.01	0.12	0.02		0.85		0.08	0.48		0.04	
-----	------	------	------	--	------	--	------	------	--	------	--

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2016年25週

	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田				1		1		2		1	
中央区		1	3	21		7		3		36	2
みなと	9	10	13	40	2	1		5	2	28	4
新宿区		5	24	16	2	3		7		8	
文京		9	3	15	5	1	3	3		4	1
台東		7	14	28	1	39	2	6		37	4
墨田区	1	8	16	12		2		5		2	3
江東区	2	6	16	94	1	4	1	7		40	12
品川区	1	2	10	47		5		7		26	4
目黒区	1	3	14	30	2	5	1	5		15	1
大田区	4	22	52	103	5	7	8	12	1	23	6
世田谷		7	143	91	15	6	1	9	1	40	21
渋谷区		1		27	2		4	3		1	
中野区	2	9	16	57	13	2	1	13		13	1
杉並	1	9	23	44	5	2	1	1		2	3
池袋	2	3	3	6	1	1					
北区		3	12	41	3	15		6		11	6
荒川区	1	9	19	19	2	5		9		15	6
板橋区			12	28	1	1	2	3	2	6	3
練馬区		4	38	68	6	5	3	11		8	4
足立	3	11	33	101	13		5	11		15	9
葛飾区	1	1	19	69	2	1	4	6		17	5
江戸川		9	29	93	2	5	1	8		7	7
八王子市		19	39	102	4	4	2	11	1	6	17
町田市	1	7	23	70	18	1		10		7	10
西多摩		3	9	29	4	1	1	3		1	
南多摩		4	19	57	4	4	1	7		8	7
多摩立川		4	61	62	8	3	3	10		3	9
多摩府中	3	11	39	112	8	2	4	27		30	17
多摩小平		25	75	92	5	2	1	10		10	10
島しょ			3								
東京都合計	32	212	780	1,575	134	135	49	220	7	420	172

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田								1			
中央区			1		2						
みなと											
新宿区		2			1			1		1	
文京					3						
台東											
墨田区					2						
江東区			1		1						
品川区											
目黒区											
大田区		2			1						
世田谷		1					2				
渋谷区					1						
中野区		1									
杉並		1			2						
池袋	1		1					1			
北区											
荒川区					3						
板橋区		6	1		2						
練馬区	1	1			5						
足立		1	1		1						
葛飾区								6			
江戸川					2						
八王子市		2			2			1			
町田市		5									
西多摩											
南多摩		1									
多摩立川		1	1		4						
多摩府中		5	1					2			
多摩小平		1	1		1						
島しょ											
東京都合計	2	30	8		33		2	12		1	

定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
5/18	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T型別不能
5/19	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-4型
5/19	咽頭結膜熱	11M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
5/22	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-4型
5/23	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-4型
5/25	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-1型
5/27	感染性胃腸炎	4	便	ノロウイルスG II
5/30	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-12型
6/1	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-B3264型

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

22週はインフルエンザウイルスが検出されませんでした。

	AH1pdm09	AH1亜型	AH3亜型	B型
2016年22週				
2015-2016年 シーズン累計*	161		25	179

* 2015-2016年シーズンの開始は第36週(2015年8月31日～)

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2016年							
	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週
アデノウイルス	1		3		2			
コクサッキーウイルスA群								
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス								
ライノウイルス							2	
ヒトメタニューモウイルス			1					
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス	1							
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	2				2	2	4	
EBウイルス					1	1	1	
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス		2	2	2	2	1		
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)		1						
風疹ウイルス								
ヒトパルボウイルスB19				1	1			
RSウイルス		2			1			
ノロウイルス	1	2	1			1	1	1
ロタウイルス	4				1			
サボウイルス							2	
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型				1				
インフルエンザウイルスB型	13	16	11	1	4	1	2	
インフルエンザウイルスAH1pdm09	2	2	1	2				
その他のウイルス								
A群溶血性レンサ球菌T-1型		1			1			1
A群溶血性レンサ球菌T-3型		2			5		3	
A群溶血性レンサ球菌T-4型	2				1	2		3
A群溶血性レンサ球菌T-12型		1	1			1		1
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型	1	1						1
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能		1						1
百日咳菌				1				
肺炎マイコプラズマ						1		
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2016年15週～2016年22週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	4	11	33	19	3	2	3	9	2	1	13		16	54	13		2	3	14	3	
アデノウイルス		3													1		2				
コクサッキーウイルスA群																					
コクサッキーウイルスB群																					
エコーウイルス																					
エンテロウイルス71																					
その他のエンテロウイルス																					
ライノウイルス														1	1						
ヒトメタニューモウイルス	1																				
単純ヘルペスウイルス																					
水痘・帯状疱疹ウイルス					1																
ヒトヘルペスウイルス6型・7型		1						8					1								
EBウイルス											3										
サイトメガロウイルス																					
ムンプスウイルス											9										
麻疹ウイルス																					
麻疹A型(ワクチンタイプ)													1								
風疹ウイルス																					
ヒトパルボウイルスB19							2														
RSウイルス	3																				
ノロウイルス				7																	
ロタウイルス				5																	
サボウイルス				2																	
インフルエンザウイルスAH1亜型																					
インフルエンザウイルスAH3亜型														1							
インフルエンザウイルスB型														45	3						
インフルエンザウイルスAH1pdm09														7							
その他のウイルス																					
A群溶血性レンサ球菌T-1型			3																		
A群溶血性レンサ球菌T-3型			10																		
A群溶血性レンサ球菌T-4型			8																		
A群溶血性レンサ球菌T-12型			4																		
A群溶血性レンサ球菌T-25型																					
A群溶血性レンサ球菌T-28型																					
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			3																		
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																					
A群溶血性レンサ球菌T型別不能			2																		
百日咳菌									1												
肺炎マイコプラズマ																					1
肺炎クラミジア																					
髄膜炎菌																					
B群レンサ球菌																					
肺炎球菌																					
インフルエンザ菌																					
黄色ブドウ球菌																					
大腸菌																					
その他の細菌																					
その他の病原体																					

<感染症豆知識>

我が国における高齢者と外国人の結核

日本の結核罹患率は10万対15.4（2014年）であり、米国等先進国の罹患率10万対5以下に比べればきわめて高く、日本は結核中蔓延国である。結核患者の大部分を高齢者が占めており、70歳以上の全体に占める割合は58.2%であり、80歳以上は37.7%を占める（2014年）。高齢者は結核の高蔓延時代を経験しているため、年齢が高くなるにつれ結核の推定既感染率が上昇し、高齢ゆえに免疫機能が低下して内因性の再燃を起こしてくるものと思われる。高齢者結核の特徴としては、喀痰塗抹陽性率が高い、受診の遅れよりも診断の遅れが目立つ、他疾患通院中発見割合や他疾患入院中発見割合が高い、有症状発見の割合は加齢と共に上昇するが呼吸器症状以外の症状のみの割合が高い、胸部X線像にて空洞影を認める率は高齢者ほど低いなどが挙げられる。高齢者結核は予後不良である。2012年に65歳以上の高齢者結核で治療開始後1年以内に死亡した者は32.2%、3ヵ月以内に死亡した者は19.2%であり、早期に死亡する例が多い。3ヵ月以内の結核死亡割合は、加齢と共に急速に増大し、90歳以上では37.7%であった。

外国出生者の結核全体に占める割合は年々増えており、2014年には5.8%に達した。若年結核では外国出生者の割合が高く、20代では44.1%であった。15～29歳の外国人結核患者の半数近くが生徒・学生であるが、中国と韓国の留学生は2010年から減少傾向にある一方で、ベトナムとネパールの留学生数が大きく増加しているという。

日本の結核患者は全体では高齢者が多く、若年結核では外国出生者が多いことを念頭に置いて、結核の早期診断を心がけなければならない。

（文責 国立病院機構東京病院呼吸器センター 永井英明）